

12 原則すべてを満たすのがWeb2.0なのか?

■ 7つの原則は原点にすぎない

オライリー氏が提示した7つの原則は、どれも少し難解な言葉で書かれており、人によってはその解釈が異なる場合もあります。ただし、本章で解説した内容で大筋は理解していただくことができたのではないでしょう。

Web2.0はこれら7つの原則が原点となって、さまざまな方面で議論されて概念が発展していています。ただし、注意しなければならないのが、7つの原則は結論ではなく、原点だということです。Web2.0とは一体何なのかを議論するベースにすぎないということです。

■ 原則すべてを満たすのがWeb2.0か

Web2.0の「7つの原則」は原点とはいえ、Web2.0を考えるときの材料となります。「このサービスはWeb2.0か」「この企業はWeb2.0か」「Web2.0って何なんだ」ということを考えるときには、この7つの原則が土台になるでしょう。

7つすべての原則を満たしてはじめてWeb2.0と呼ぶかといえば、そういうわけでもありません。7つの原則のうち、どれか1つの特徴に秀でているWeb2.0な企業・サービスもあったり、全部を少しだけ満たすWeb2.0な企業・サービスもあったりするでしょう。オライリー氏自身も「特定の分野で突出した能力を示していることは、7つの原則すべてを少しずつ満たしているよりも、その企業がWeb2.0的であることを示している場合があることを忘れてほしい」と論文の最後で述べています。

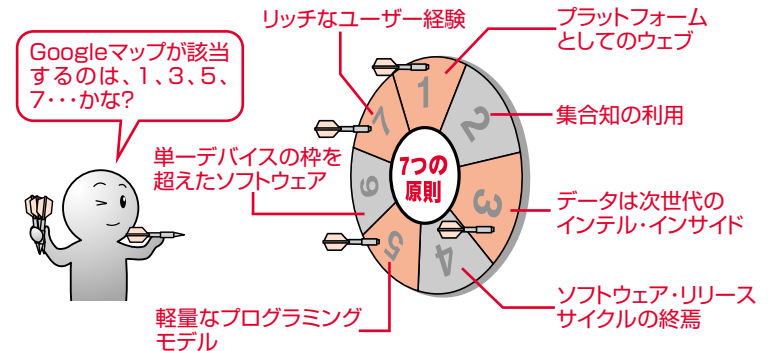
34ページから37ページでは、これまで解説してきた7つの原則を頭の片隅において、「結局Web2.0って何なのか」について、より掘り下げていきます。

Web2.0とは何か」を浮き彫りにするのが「7つの原則」

「7つの原則」はWeb2.0を考えたときの原点

7つの原則は、Web2.0的な企業やWeb2.0的なサービスを分析・分類するための指針という位置付けである。「どこに該当するのか」で考えれば「Web2.0のかどうか」が見えてくる。

Googleマップを例にすると・・・



「7つの原則」すべてを満たすことが必須ではない

7つの原則は、Web2.0を考える際のベースであるが、すべてを満たしていなくてもWeb2.0的な企業・サービスも多い。

